

使用上の注意

- ・タイルの剥離部、浮き箇所、ひび割れ箇所は、事前に張り替え又は、エポキシ注入・シーリング材充填などの補修処理を行なって下さい。
 - ・深目地の場合(3mm以上)、浅目地になるよう埋め戻しモルタル目地を十分に乾燥させ施工して下さい。
 - ・タイル壁面洗浄の際、フッ酸、フッ化アンモニウム系洗浄剤を使用する際は、中和剤にて中和処理を行った上で、洗剤や中和剤が残らないように最後に高圧洗浄にてよく洗浄を行って下さい。
 - ・油污れ・排気ガス汚れおよび析出、固着したシリカ分やカルシウム分を市販のタイル用洗浄剤を用いて洗浄して下さい。タイル洗浄剤の選定に際してはテスト洗いをおこないタイル表面の傷みや洗浄効果を良く確認してから選定して下さい。最後に洗剤が残らないようによく高圧洗浄にてよく洗浄をおこなって下さい。
 - ・小口端末等のシーリング材は、定期的に点検をおこない劣化状況に応じて打替えて下さい。
 - ・シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によって汚染または不具合が発生する場合がありますので、弊社営業部へお問い合わせ下さい。
 - ・背面水の影響は後々問題となるため裏面より水がまわらないように事前に別途防水工事等処理を行って下さい。
 - ・外気温5℃～35℃未満、下地表面温度は5℃～45℃未満、湿度は80%未満の環境で施工して下さい。
 - ・施工時および材料の乾燥硬化過程で降雨・降雪が予想される場合は施工を避けて下さい。
 - ・スカイコートW塗布時にタイル目地部に溜まり(白く残る)があるまま、そのまま硬化してしまうと、透明度が下がったり割れが発生するため、溜まりのないよう塗布して下さい。
 - ・防水材塗布時(未硬化時)に降雨に遭うと硬化後、塗膜が白く、割れが発生してしまう事があります。施工後の硬化までの天候に十分注意し、雨養生等の対策を行って下さい。(※目安:23℃で6時間以上)
 - ・水性材料のため天候によって工期が延びる場合がございます。特に低温環境は施工に支障をきたす場合がございますのでご相談下さい。
 - ・材料が付着乾燥すると取れません。塗装面の養生を完全におこない建物の周辺に飛散しないように十分注意して下さい。
 - ・吸い込みの大きいタイル(レンガタイル等)、ラスタータイル(パール調)への施工はおやめ下さい。
 - ・テスト施工やサンプル板等で、付着性の確認や仕上がり感の事前承認を頂いた上で施工をして下さい。
 - ・材料の取り扱いに際してはできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用して下さい。
 - ・取扱い後は、手洗いうがいを十分におこなって下さい。
 - ・材料の保管は、気温5～35℃で密閉のまま直射日光を避け、屋内に保管して下さい。
 - ・開封後は出きるだけ早く使用して下さい。
 - ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師診察を受けて下さい。
 - ・誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - ・中身を使い切ってから廃棄して下さい。
 - ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み、または外観に変化がある時は医師の診察を受けて下さい。
 - ・廃塗材、廃容器、洗浄水等は産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ・幼児の手の届かない所に保管して下さい。
 - ・カタログに記載されたデータや事項は実験値や調査に基づくものであり、実際の作業現場の結果を確実に保証するものではありません。
 - ・施工方法や製品取扱いについては、施工要領書・SDSをご確認下さい。
 - ・その他ご不明な点は、弊社営業部へお問合せ下さい。
- ※温度、風通しの有無等、施工現場の状況により時間は異なります。

Fun to Share

独創の技術が明日を拓く
大日化成株式会社
<https://www.dainichikasei.co.jp/>

本社 〒571-0030 大阪府門真市末広町8-13 TEL. 06-6909-6755(代) FAX. 06-6909-6702
東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-14 TEL. 03-3436-3801(代) FAX. 03-3436-3803
岡山工場 〒709-4312 岡山県勝田郡勝央町黒土115-1 TEL. 0868-38-5151(代) FAX. 0868-38-3745

代理店



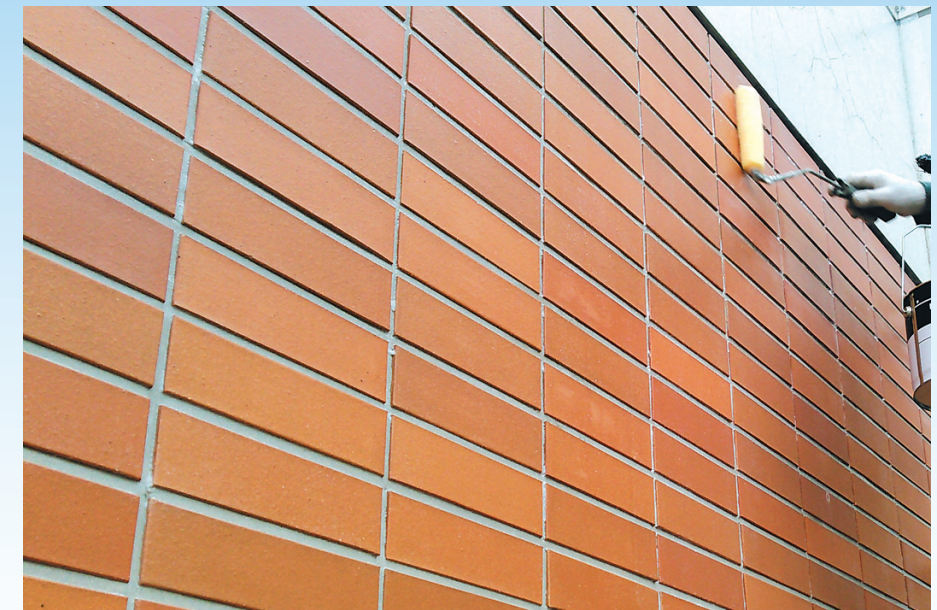
本パンフレット記載の製品写真は、印刷物のため実際の色とは多少異なります。
本カタログは、一部植物油インキを使用しています。

KENE- 643D(22.11)

タイル張り面の透明外壁防水材

スカイコートW

水系ウレタン樹脂



スカイコートWは、透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。
透明な塗膜なので、タイル仕上げの意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。

DAINICHI CHEMICAL
CO.,LTD.

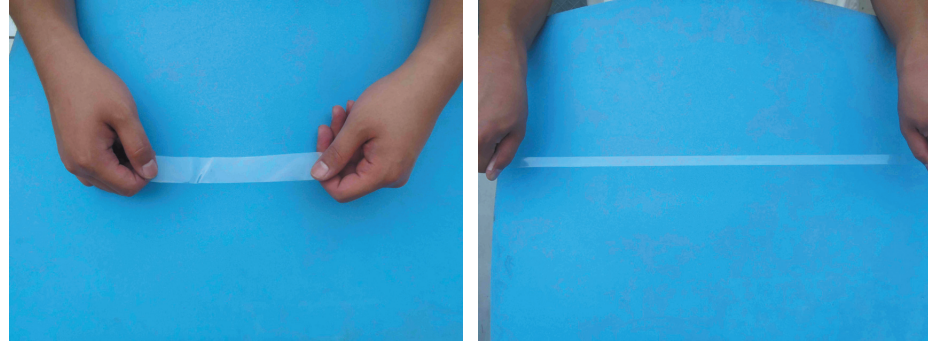
特長

1. オール水系

プライマーを含め全ての構成材料は水系であり、危険物を一切含んでいないため引火や中毒の危険がなく、居住者・作業員・環境にやさしい材料と言えます。

2. 超高性能被膜

ウレタン樹脂の特性を生かし強靱で柔軟な被膜を形成し、驚異的なひび割れ追従性(20mm以上) 抗張積(2670N/mm)を備えています。また専用プライマーにより磁器タイルの様な吸い込みの少ない下地へも強固に接着し、タイルの剥落の予防に寄与します。



3. 優れた施工性

全ての構成材料は1液型のため煩雑な混合作業は必要ありません。

壁面施工でもダレ難く、適度なレベリング性によりフラットな仕上がりになります。

4. 防カビ・防藻機能

防カビ・防藻機能を付与しており、不快なカビや藻の発生を抑制します。

使用材料・荷姿

工程	製品名	荷姿	性状	施工可能面積(m ²)
プライマー	スカイコートWプライマー	5kg/缶	水系アクリル樹脂	50 m ²
防水材	スカイコートW防水材	10kg/缶	水系ウレタン樹脂	16.6 m ²
トップコート	スカイコートWトップ(艶有)	5kg/缶	水系アクリル樹脂	50 m ²
	スカイコートWトップ(半艶)	5kg/缶	水系アクリル樹脂	50 m ²
	スカイコートWトップ(艶消)※	5kg/缶	水系アクリル樹脂	50 m ²

※スカイコートWトップ艶消は受注生産品となります。

スカイコートWの施工仕様

工程	使用材料	トータル塗布量(kg/m ²)	乾燥硬化時間(目安時間)※1	塗装方法	
1	プライマー	スカイコートWプライマー	0.1	2時間~5時間 透明状態確認まで	刷毛、ローラー (0.1kg/m ² 以下 x 1~2回)
2	防水層下塗り	スカイコートW防水材	0.6	3時間~8時間 透明状態確認まで	刷毛、ローラー (0.3kg/m ² 以下)
3	防水層上塗り	スカイコートW防水材		3時間~8時間 透明状態確認まで	刷毛、ローラー (0.3kg/m ² 以下 x 1~数回)※2
4	トップコート	スカイコートWトップ (艶有・半艶・艶消)	0.1 (0.2以上)※3	2時間~5時間 透明状態確認まで	刷毛、ローラー (0.1kg/m ² 以下 x 1~2回) 斜壁・天端は数回

※1) あくまでも目安時間になります。各工程、透明状態になってから更に1時間養生後に次工程を施工してください。

※2) 防水層 上塗りは、塗布回数を調整してトータル塗布量になるまで材料を塗布してください。

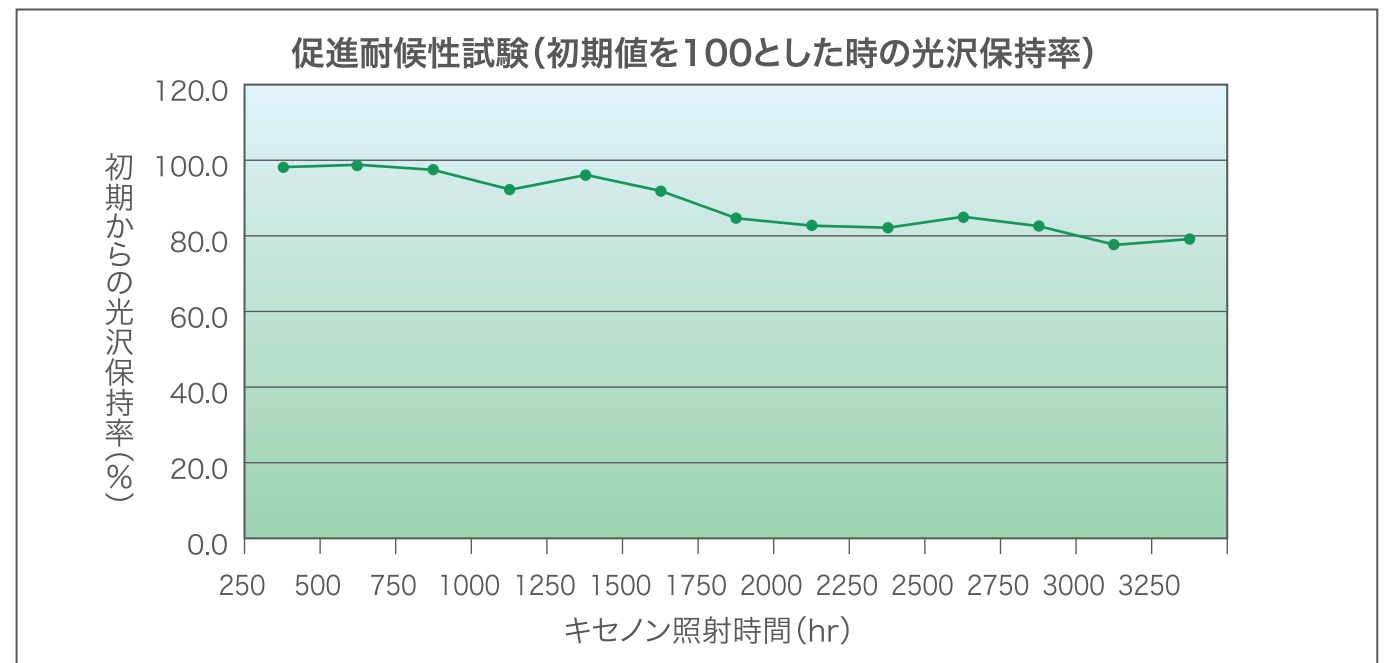
※3) 斜壁・天端においては、最低トータル塗布量が 0.2kg/m²以上になるように数回塗布してください。

硬化塗膜の性能

試験項目		参考規格	スカイコートW試験結果	試験方法	
引張性能	引張強さ N/mm ²	試験温度 23°C	2.3以上	23.3	
		試験温度 -20°C	2.3以上	28.4	
		試験温度 60°C	1.4以上	4.1	
	破断時の伸び率 %	試験温度 23°C	450以上	573	
	抗張積(23°C) N/mm		※2 280以上	2670	
	破断時つかみ間の伸び率 %	試験温度 23°C	300以上	573	
試験温度 -20°C		250以上	399		
試験温度 60°C		200以上	396		
引裂性能	引裂強さ N/mm	14以上	41.3	JIS A 6021 外壁用塗膜防水材料 参考規格:ウレタンゴム系	
加熱伸縮性能	伸縮率 %	-4.0以上1.0以下	-2.4		
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上		109
		促進暴露処理	60以上		175
		アルカリ処理	60以上		120
	破断時の伸び率 %	加熱処理	400以上		515
		促進暴露処理	400以上		523
		アルカリ処理	400以上		463
伸び時の劣化性状		加熱処理	ひび割れ及び		異常なし
		促進暴露処理	変形のないこと。		異常なし
付着性能	付着強さ N/mm ²	無処理	0.70以上	2.7	
		温冷繰り返し処理後	0.50以上	3.0	
透水性B法 ml		0.5以下	0.0	JIS A 6909建築用 仕上げ塗材(複層塗材E)	
ひび割れ追従性 mm		—	20以上※	JHS417コンクリート塗装材 の品質試験方法	

※ 試験機の性能限界により、測定不能。

※2 抗張積の規格値はJIS A 6021 屋根用塗膜防水ウレタンゴム系の規格値



JIS K 6568 建築用耐候性上塗り塗料:照射時間 2,500時間後の光沢保持率 80%以上

(試験条件)

キセノンウェザーメーター

1サイクル2時間(①→②の繰り返し)

①照射(ブラックパネル:温度 63°C、湿度 50%R.H.、照度 60W/m²) 102分

②照射+降雨 18分